

わかりやすいイラスト・マンガ解説

中小企業のIT入門マガジン

# COMPASS

[コンパス]

特集

2002年  
秋号  
(創刊号)

## 会計業務を 効率化する!



導入時の問題解決からソフト選びまでを  
徹底ガイド

**目指せコスト削減** ランニングコストに強いカラープリンタ  
リモコン操作のインテリジェントディスプレイ

**トクするNews** 電話の主を音と掲示で知らせる装置  
1台6役のFAX複合機

**連載** 顧客を呼び込むホームページの作り方

IT時代の常識用語 ネットワークでWork

**インタビュー** オリент・キャピタル 中州 彬 社長 ITは問題解決へのツールだ

compass[ kámpəs ]: 羅針盤(儀)・指針・方向性

しかし、「ワープロがやっとなのに、会計ソフトなんて難しそうだし」「以前購入したが使いこなせなかった」と不安に思う向きもあるかもしれない。

結論からいうと、会計ソフトは難しくくない。

業務に特化しているがゆえに目的が明確だから、汎用性の高い表計算ソフトなどと比べても、操作に迷うことが少ないはずだ。ソフトウェアメーカー各社とも、年々使いやすさを向上させているので、仮に数年前に挫折したとしても、今なら再チャレンジする価値がある。

大切なのは、導入の必要性を意識し、使おうとするかどうかにある。平成11年からは電子帳簿保存法により帳簿が電子データのまま保存できるようになった。電子申請も実用化に向けて動いている。こうした流れに乗り遅れないために、まずは日々の数字を扱う会計業務に「人情報技術」を導入し、経営に役立てたものだ。

# 会計業務を効率化しよう



財務状況の把握や資金管理を行う会計業務は、まさに経営の骨格である。しかし、直接的な利益を生み出さないバックヤード業務はなるべくスリム化し、商品の開発・製造・販売に人材や資金を投入したいものである。昨今の厳しい環境下では、業務効率の改善が急務ともいえる。

会計業務の根幹は「漏れない記録」「正確な計算」にあるが、これはコンピュータが最も得意とする分野である。機械にできることは極力任せ、時間を有効に使いたい。

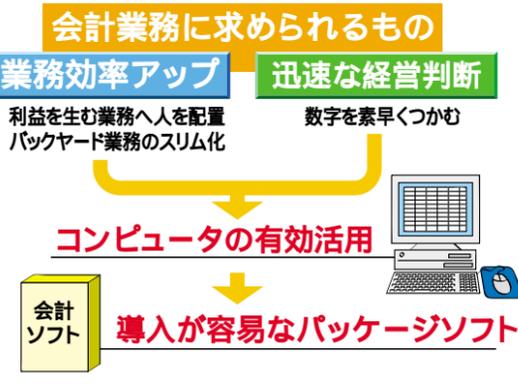
コンピュータはワープロや表計算など、様々なソフトウェアを使って業務効率を向上させることができる。会計業務に関しては専用のソフトウェア（以下、会計ソフト）が多数発売されているから、これを利用しない手はない。

会計ソフトを使ってできることを簡単に紹介しよう。

手書きの場合は、1つの取引に対して様々な帳簿への記帳が必要だ。1つでも記入漏れや誤りがあると修正作業も発生する。しかし、会計ソフトは、どれか1つの帳簿に取引を記録する（入力作業）と、関連した帳簿に自動的に転記される。つまり、入力はわずか1回。転記は不要だ。

また、残高試算表なども自動的に計算され、瞬時に作成されるので、財務状況がリアルタイムに把握でき、素早い経営判断が実行できる。

コンピュータの活用という点、まず、人件費削減や業務効率化が念頭に上がるが、財務数値を素早くつかむことによる経営のスピード化も、非常に大きな効果なのである。



## 会計ソフトで何ができる？

### 1 転記 御無用!



何回も書かなくてよい

### 2 計算 御無用!

集計は自動的に行われる。



作業が減る



コンピュータが得意とするところは、記録、計算、検索。これらになるべく任せてしまい、「人間」はデータの分析や予測判断に集中することが肝心です。時間を有効活用することで、スピード経営が実現できます。

### 3 探し出す! 過去の取り引きをすく探せる。



スピーディー

### 4 教えてくれる! 仕訳に迷ったらヒントがある。



悩まなくてよい

アドバイス 得意先をゴルフに招待して6万円払った例

借方勘定	貸方勘定	摘要
交際費	現金	ゴルフ招待費
60,000	60,000	